



ヒロシマの10代がまく種

被爆71年の夏を迎えた広島。こ
ともしも国内外から多くの人が訪れ
ています。そんな中、県外から来
た10代が、ヒロシマをどう感じ
何を伝えようとしているのか。
今月上旬に2団体の若者に、意見
交換やアンケートを通して取材し
ました。

△ヒース・シース▽
平和や命の大切さをいろん
な視点から捉え、広げていく
「種」が「ヒース・シース」
です。世界中に笑顔の花をた
くさん咲かせるため、中学1
年から高校3年までの39人
が、自らテーマを考え、取材
し、執筆しています。

第35号 被爆地学ぶティーンの夏

福島の安積(郡山市)郡山東(同)相
馬(相馬市)福島(福島市)4高校の新聞
部員8人と、高校生ジュニアライター12
人が、原爆資料館の見学や被爆者の話を
聴講。被爆地広島 福島第1原発事故の被
災地福島について語り合いました。
4班に分かれて意見交換するとともに、
16歳で被爆した掛井千幸さん(87)と東広島
市11の体験談を一緒に聞きました。
意見交換では、5年前の震災と原発事故
について聞きました。郡山東高2年の滝田
彩泉さん(17)は当時小学5年生。事の重大
さを理解できず、毎日首から放射線計測器
を下げ、結果と1日の過剰し方を記録する
のが面倒だったそうです。
相馬高のグラウンドには、除染時に出た
汚染土が埋められています。部活動に使わ
れていますが、同高2年の大谷巨さん(16)
は「普段は意識していない」と言います。
安積高1年の服部嵩大さん(15)は、私たち
に対して「地震や原発事故など予期せぬ事
態が起きても、ひるまずに立ち向かって」
と訴えていました。

掛井さんは、今は平和記念公園になっ
ている天神町の自宅で両親を亡くしました。
両親だけでなく家も突然奪われ、親戚の家
に身を寄せました。
「福島は今も家に帰れない人がいると
郡山東高2年の山下真季さん(16)が指摘。
掛井さんは「広島では自分たちが小屋を建
て、豊かになるにつれて徐々に住みやすく
していった。仮設住宅で不具合や不自由を
感じる人は、奮起して自分の家を持つ意気
込みを持ってほしい」と答えていました。
福島高2年の平野叶大さん(16)による
「これからも平和な状態を維持するには」
の質問には、「18歳に下がった選挙権を生か
して政府に訴えてほしい。戦争では私た
ちの意見が取り入れられなかったから」と
呼び掛けていました。

郡山東高2年滝田彩泉さん(17)
福島では原発事故を過去の出来事と
捉える人が多い。が、広島では71年間
継承されている。原発事故で自宅に帰
れない人らに聞き取りしたい。

福島高2年横山瑞歩さん(17)
放射能と隣り合わせで暮らすこと
が日常となり、話題にもならない。
もっと太平洋岸の「混雑」の人々
に直接話を聞く機会を増やしたい。

相馬高2年大谷巨さん(16)
平和記念公園で被爆アオギリ
を見学している認定こども園の
園児がいた。広島市民の平和に
対する意識の高さを知った。

町の復興
市民の力が
不可欠

福島4高校
新聞部

相馬高2年和田山きらりさん(17)
原爆資料館に原寸大の原爆模型
があった。そばには被爆直後の広
島のパノラマ。小さな原爆が街を
破壊したことをより実感した。

郡山東高2年山下真季さん(16)
掛井さんたち広島の人々が体験
したことは、私たちが想像でき
ないほど悲惨なものだった。

原爆ドーム
訪問者多く
驚いた

安積高2年高橋花奈さん(16)
71年たっても原爆ドームを訪
れる人が多くて驚いた。震災で
被害を受けた地域の人にしか分
からないことを取材したい。

安積高1年服部嵩大さん(15)
原爆資料館を見学して、体
験していない人にも継承する
ことが大事だと思った。



原爆投下当時、掛井さん宅の自宅があった場所で、当時の様子を聞く
福島県の高校生たち

平和への思いつなぐ



戦争などの争いや核兵器のない世界のためにできることを
話し合うグループディスカッション

第35号は、高3谷口信乃、岩田壮、
岡田春海、鼻岡舞子、福嶋華奈、高2
坪木菜里佳、溝上希、山田千秋、高1
岡田実優、中川碧、岩田央、上長春
一、沖野加奈、中3川岸言統、鬼頭里
歩、溝上藍、アリス杏奈、中2川岸
言織、佐藤西、中1森本柊衣が担当し
ました。

子ども 平和会議 今できることに全力

小学生から高校生が、お
むね学年ごとに5〜7人で17
班になり、大学生らの進行で
「核兵器や戦争など争いこと
をなくすために私たちができ
ること」を話し合いました。
その後、内容を発表し、全体
でアピール文を作りました。
小学生の班は「相手の意見
を認める」「自分がされて嫌
なことをしない」「自分が
間違っていたら謝る」「困っ
ている人を助ける」などと発
表しました。中学生は「いじ
めを減らす」「地球温暖化を
なくす」「戦争に関する資料
を大切に保管する」「選挙に
行く」と提案。高校生は「戦
争の歴史について被害、加害
両面を学ぶ」「無関心でない
」「会議や会員制交流サイ
ト(SNS)で発信する」と
発言しました。
これらを基にアピール文を
作成。議長を務めたジュニア
ライターの中学3年川岸言統
さん(15)が「いろんな考え
を持つ人やいろいろな国の人
とも手をつなぎ合って明るい
未来を築けるようにする」と
宣言しました。

子ども平和会議に参加していた121人のうち100人の
10代(小学生47人、中学生32人、高校生20人、大学生
1人)が、アンケートに答えてくれました。

オバマ米大統領訪問知ってる？
オバマ米大統領が広島に来たのを知って
いる人は95人いました。中学生以上は全員知っ
ていました。
これから何をしてほしいか、という問いに
は、「核廃絶の実現」を求める声が全体の約
3分の1、34人と最も多く、「広島の実情」
や平和の大切さを世界に伝えてほしい、「戦
争をなくし、平和な世界の実現」と続きまし
た。中には「もう一度広島に来てほしい」「今
度は長崎に」など再び被爆地への訪問を望む
声もあり、5月の広島訪問への関心の高さが
うかがえました。
山形県の小学6年男子は「力づくでどちら
が正しいかではなく、話し合いで解決する事
が大切」と感想を述べます。

平和学習お薦めの場所は？
主に次の場所が、平和学習にお薦めとして
挙がりました。
【北海道】北海道空襲跡(札幌市内など)
北方領土館(標津町) 納沙布岬(根室市)
【東京都】昭和三十二年(代田区) 【神奈川県】
横浜外国人墓地(横浜市中区) 日本郵船氷川
丸(同)川崎市平和館(川崎市中区) 米軍
基地(大和市) 綾瀬市、横須賀市、相模原市
など 【愛知県】こども未来館(豊橋市) 【岡
山県】岡山シティアムニシアム(岡山市北区)
【広島県】原爆ドーム(広島市中区) 平和記
念公園(同) 原爆資料館(同) 広島大本営跡
記念館(周防大島町) 【大分県】城井1号
掩体壕(宇佐市) 【長崎県】原爆資料館(長
崎市) 平和公園(同) 如己堂(同) 被爆クス
ノキ(山王神社、長崎市) 一本柱鳥居(同)